



The Japanese School of Melbourne メルボルン日本人学校だより

令和8年度

7月冬休み号

R8.7.7

めざす子ども像 *進んで学ぶ子 *心豊かで思いやりのある子 *たくましい子, やりぬく子

冬休みが始まりました



「挑戦しよう やってみよう 一步前へ!」を合言葉にして、4月13日にスタートした58日間の1学期が終わりました。1学期の間、ジャパンフェスティバル、宿泊学習、青空ランチ、現地校との交流学习などの行事をはじめ、日々の学習活動の中で子供たちはよく頑張り、いろいろな場面で自分から挑戦している姿を見せてくれました。そして、一人一人が素晴らしい成長を見せてくれました。4学期制が今年からスタートし、昨年度までより少し早い冬休みが始まりました。日本の夏休みのように長くはありませんが、それでもふだんの学校生活とは違う経験ができるよい機会です。終業式

では、校長から1学期の各学年の頑張りについてとFIFAワールドカップ日本代表の話をしました。先日のジュニア戦、中休みだけですがみんな観戦し応援しました。ふだんからサッカーをしている子もそうでない子も同じように大いに盛り上がりました。ブラジル戦は惜敗でしたが、選手一人一人に挑戦があり努力があるのだということや、試合に出て活躍をしている選手だけでなく、チームジャパンとして選手を支えている人たちが、それぞれの役割を果たしてくれているからこそ、選手が自分の力を発揮することでできているのだという話をしました。日本代表チームのロッカールームの美しさはいつも話題になりますが、それは子供時代の学校生活での掃除の時間に培われたものではないかと、私は常々思っています。子供たちにも日本代表のロッカールームの写真を見せましたが、終業式後の大掃除では、日本代表にならっていつも以上に頑張り、教室や廊下などどこもピカピカになっていました。終業式では最後に子供たちに4つの宿題を出しました。①「生活のリズムを守る」②「家族の役に立つことをする」③「めあてを決めて勉強する」④「命を大切にすること」です。特に④「命を大切にすること」は、毎回休みのたびに子供たちに伝え続けてきていることですが、これだけは絶対に守ってほしいです。①②③については、きっと各自で「やってみよう」と考えて取り組んでくれることと思いますので、ご家庭でのご協力をお願いします。また、各種作品募集やコンクールの案内も数多く来ています。これも自分の力を試す絶好の機会ですので、「やってみよう」と思うものに、「挑戦」してもらえとうれしいです。

授業中に校内を回っていると、子供たちが生き生きと学習に取り組んでいる姿をさまざまなところで見るができます。日々の学習や生活、この学校ならではの活動や行事の中で、自ら進んで学ぼうとする姿、どんなこともあきらめず取り組む姿、仲間と協力して一つのことを成し遂げる姿、自立と自律を両立している姿、上級生が下級生に優しく接する姿など、さまざまな場面で子供たちのすばらしさを感じるののできた1学期でした。これもひとえにご家庭でのご支援や励ましの賜物だと感謝しております。どうもありがとうございました。子供たちの「わかった!」「できた!」「やった!」という瞬間に立ち会うことができるのが、私たち教師の仕事の醍醐味の一つです。そんな時の子供たちの表情は本当にキラキラしていて、こちらまで幸せな気持ちになります。そんな瞬間を、子供たちに一つでも多くつくってあげられるようにしたいと思っています。

今日は七夕です。恒例のメル校の笹飾りが、みんなの願いを乗せて1階ホールで揺れていました。低学年の子供たちが図工の時間に色とりどりの飾りを作り、プレップとG1の子供たちが願いごとを書く短冊を作って配ってくれました。みんなの願いが叶いますように。チームメルボルン日本人学校の皆様、すてきな冬休みをお過ごしください。2学期も引き続き温かいご支援とご協力をよろしく願いいたします。 校長 小橋 幸代



【長期休業中の緊急連絡について】

- ・平日の昼間は、学校電話 039528 1978、又は[学校メールmelko@jsm.vic.edu.au](mailto:melko@jsm.vic.edu.au)へ連絡してください。
- ・土日、祝日は、学校メールへ連絡してください。
- ・学校から緊急連絡がある場合は、SchoolStreamでお知らせします。

宿泊学習（G4～G8）思い出ギャラリー

6月3～5日、G4～G8は大自然の中で宿泊学習を行いました。アーチェリー、ジャイアントスイング、キャンプファイヤーなど、たくさんのアクティビティに挑戦しました。みんなで協力して過ごした3日間、自分たちで考え、自分たちで行動し、助け合い、励まし合い、素晴らしい成長を見せてくれた子供たちです。みんなの絆がますます強く深くなりました。



P～G3 青空ランチ

G4以上の学年が宿泊学習に行っている間は、G3が学校の中のリーダーになります。6月5日、Princes ParkでG3が中心になってP～G3で青空ランチを行いました。文字どおりの青空の下、グループや全員でリーダーであるG3が考えた遊びで楽しい時間を過ごし、みんなでランチを食べました。いつも仲良しのみんなですが、より一層仲良く笑顔で過ごすことができました。



特別授業トヨタ自動車教室「車のデザイン開発のお話」

6月18日5・6校時、全校生や保護者の皆様も多数参加して、トヨタオーストラリアで車のデザイナーをされている方を講師にお招きして、特別授業「車のデザイン開発のお話」が行われました。車がどのような工程でデザインされどうやってできるのかという話の後、実際に自分の手で車のデザインをしてみました。

子供たちは夢中になって、世界に一つしかない車をデザインし

ました。最後は校庭に出て、講師の方がデザインしオーストラリアで販売され走っている車を見させていただきました。子供たちは車の下をのぞきこんだり、運転席に座らせていただいたり、荷台に乗せていただいたり、と大はしゃぎでした。この車の大きな特徴の一つはフロントバンパー。日本だと固いプラスチック製のものがほとんどですが、こちらは鉄製の頑丈な仕様になっています。カンガルーに衝突されても大丈夫なように作られているとのこと。こんなところでもオーストラリアを感じ、子供たちは実際に触ってみてその感触を確かめていました。

ふだんあまりお話を聞く機会の少ない「車をデザインする」という仕事をされている方のお話を聞く中で、「デザインとは、世の中のモノ・コトを『人』にフィットさせて、みんなの暮らしを豊かにすること」とおっしゃった言葉の奥深さと素晴らしさを感じました。

「本物に出会う」素晴らしさを体験させていただいた時間となりました。貴重な体験の場をどうもありがとうございました！

